

H25-27 国営明石海峡公園 運営維持管理業務

別添資料

平成24年〇月

国土交通省 近畿地方整備局

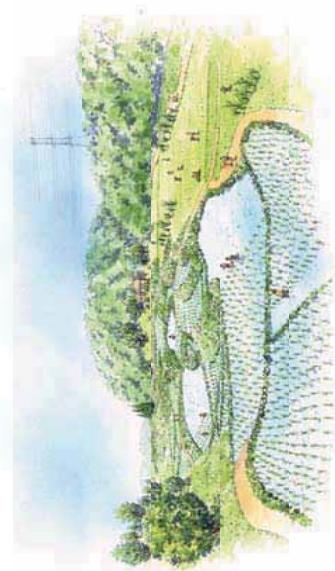
仕様書(案)に関する別添・様式

分類	資料No	資料名	頁番号
共通仕様書	別添 1	公園平面図	1
	別添 2	委託取扱要領	2
	別添 3	管理事務所図	20
	別添 4	土地利用方針	22
	別添 5	異常気象時における公園の開園・閉園判断基準	23
	別添 6	都市公園占用等申請書	25
	別添 7	利用サービス日誌	30
	別添 8	災害対策要領	32
	別添 9	園内施設(設備等)位置図	63
	別添 10	提供施設の取扱い	64
	別添 11	取得した備品の取扱い	67
企画立案及びマネジメント	別添 12	業務入園規則	83
	別添 13	イベントの許可条件	86
	別添 14	入園料徴収フロー	87
	別添 15	消防計画書	88
	別添 16	継続性の高いイベント対応	95
	別添 17	行催事について	96
	別添 18	公園利用重点調整区域図	98
	別添 19	ボランティア活動規約・活動内容	99
	別添 20	グラフィックマニュアル	103
	別添 21	利用指導・利用サービスマニュアル	104
	別添 22	巡回範囲	135
施設管理維持	別添 23	建物管理区分図	136
	別添 24	建物に係る点検整備計画	137
	別添 25	工作物維持修繕主要箇所位置図	139

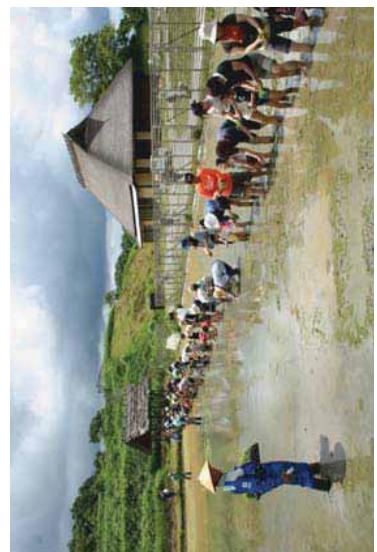
分類	資料No.	資料名	貢番号
植物 管 理 業 務	別添 26	芝生管理区域図	145
	別添 27	中低木管理区域図	146
	別添 28	高木管理区域図	147
	別添 29	林地管理区域図	148
	別添 30	草地管理区域図	149
	別添 31	花壇管理区域図	150
	別添 32	草花管理区域図	151
	別添 33	特殊管理区域図	152
	別添 34	除草範囲図	153
収益施設等 管理運営 規定書	別添 35	収益施設運営対象区域図	154
共通 仕様書	別添 36	個人情報の保護に関する規定(案)	155
企画運営 管理	別添 37	ホームページ運用(仮称)	163
参考	別添 38	神戸地区概要	179
様式	様式 1	管理月報	186
	様式 2	管理四半期報	187
	様式 3	収益施設等運営業務の管理に関する勤務簿(案)	188
	様式 4	重大事故報告様式	190
	様式 5	国営公園におけるテロ対策の実施状況	192

神戸地区

神戸地区は、棚田や茅葺き民家の再生等里山の復元を目指し
市民活動団体とともに整備しています。



棚田ゾーン・棚田整備地区 イメージスケッチ



国営明石海峡公園

設置目的

国営明石海峡公園は、明石海峡を挟んで、兵庫県淡路市の「淡路地区」と神戸市の「神戸地区」の2地区で構成され、全体計画面積330ha、全国で16番目のイ号国営公園です。近年の近畿圏における広域レクリエーション需要の増大に応えるため、美しい里山や海に恵まれ、交通の便の良い明石海峡周辺で昭和49年度から調査会に着手。自然との共生の場の創出のために、計画・整備・管理の各段階で環境保全に配慮し、自然とふれあい、心と人が通い合う交流の場となる公園づくりを進めています。

「自然と人との共生、人と人との交流」

国営明石海峡公園の位置

現在、淡路地区（淡路島国営明石海峡公園）では、土取り跡地が花と緑あふれる公園に生まれ変わり、神戸地区（あいな里山公園）では、都会に残る貴重な里山里山を活かした公園づくりを進めています。「回復する自然」「保全する自然」とひととのふれあいの場を提供し、人々の交流の場となることを目指す公園です。

国営明石海峡公園の位置

国営明石海峡公園は、兵庫県内、近畿各方面からの利用の他、全国及び世界各国からの利用を想定し、近隣施設との連携を図りながら、日帰り型及び宿泊型のレクリエーションに対応することを目指しています。

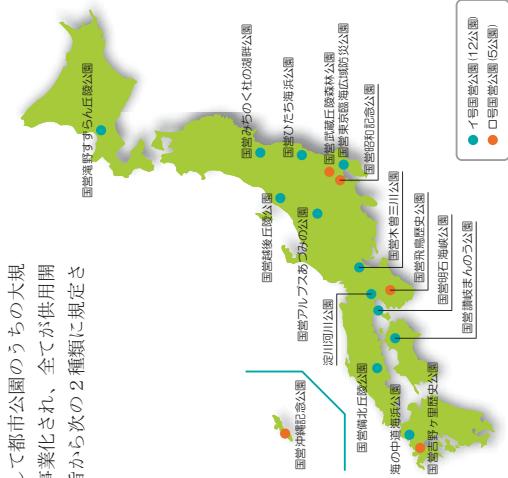


事業経緯

昭和49・50年度	建設省・兵庫県合同の大規模公園調査の実施
昭和51年5月	都市公園等整備緊急措置法及び都市公園法の一部を改正する法律(国営公園制度施行法)
平成2年6月	都市公園法施行規則改定により、関東と近畿に2番目のイ号国営公園の設置が可能になる大規模公園の基本構想の検討候補地抽出
平成2年度	国営明石海峡公園(仮称)連絡会(行政連絡会)の設置
平成3年3月	国営明石海峡公園(仮称)整備促進協議会発足
平成3年7月	国営明石海峡公園(仮称)基本構想及び周辺地・計画箇定(候補地選定)
平成3年度	国営明石海峡公園(仮称)基本構想及び周辺地・計画箇定(候補地選定)
平成4年4月	明石海峡周辺地区での大規模公園調査が公園事業調査費で認められる(基本構想)
平成5年4月	国営明石海峡公園の事業化
平成6年9月	国営明石海峡公園基本計画策定
平成6年12月20日	淡路東浦都市計画公園・淡路島公園(国営明石海峡公園(淡路地区))都市計画決定
平成7年度	国営明石海峡公園(淡路地区)工事着手
平成8年3月11日	国営明石海峡公園(淡路地区)：文化・交流ゾーン、海岸ゾーン事業承認
平成9年2月28日	神戸国際港都建設計画公園・しあわせの森(国営明石海峡公園(神戸地区))都市計画決定
平成9年3月14日	国営明石海峡公園(神戸地区)事業承認
平成9年3月25日	建設大臣が事業者として国営明石海峡公園を設置すべき区域を決定
平成12年3月	淡路地区において国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」を開催(3月18日から9月1日)
平成12年9月17日	国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」が閉幕
平成14年3月21日	淡路地区文化・交流ゾーン、海岸ゾーンの一部(第1期開園)(30.1ha)
平成15年4月26日	淡路地区移ろいの庭、芝生広場、第2期開園(6.2ha)

全国の国営公園

第14回全国「みどりの愛護」のつどい開催
淡路地区(ビシスター棟、淡路ロゲート等、芝生広場大型複合道具第3期開園)0.9ha)
平成16年4月17日 淡路花博2010「花みどりフェア」開催(平成22年3月20日から5月30日)
平成22年3月 淡路地区淡路口駐車場等第4期開園(2.3ha)
平成23年1月27日 国営明石海峡公園(神戸地区)基本計画改正



- ◆イ号国営公園
一の都府県の区域を越えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園又は緑地(災害時に広域的な災害救援活動の拠点となるものとして国が設置する都市公園と国が設置するその他の都市公園に分けられる)
- ◆ロ号国営公園
国家的な記念事業として、又は我が国固有の優れた文化的遺産の保存及び活動をはかるため閣議の決定を経て設置する都市計画施設である公園または緑地

神戸地区

コンセプトは「森とのふれあい空間」

豊かな里山を守り育てながら、身近な森としての活用を図ります。

■■■ 基本テーマ

自然との共生を中心とした伝統的な自然観を継承することによって、いのちにぎわい豊かな「里地里山文化公園」を目指すことを基本とします。

- 歴史・文化を含めたこの土地の里地里山の景観を、新たな技術を導入しながら再生し、継承していくことを目指します。
- 国際都市神戸に位置することから、自然とともに共生という伝統的な日本人の自然観を海外の人々にも発信することを目指します。
- 誰もが利用できる都市公園というフレーリーションの場を活用して、里地里山文化を体験できるとともに、大規模な里地里山を「動態」として保全し、これを継承していく際のモデルとなる公園づくりを目指します。
- 環境保全と豊かな暮らしを同時に求める、持続可能な新しいライフスタイルの提案を目指します

■■■ ゾーニング



稻田ゾーン 生活や工芸体験ができる施設を整備します。

森のゾーン 緑に囲まれた環境の中、自然を学び、楽しむ野外活動フィールドを整備します。

自然保全ゾーン 管理と利用のバランスを保ちながら、多様な動植物の生息・生育環境を保全するエリアとします。

水と緑のゾーン 広域交通網からのエントランスにふさわしい、水と緑の景観を演出します。

■■■ 整備状況

神戸地区は「豊かな里山を守り育てながら、身近な森としての活用を図る」を基本テーマとし、隣接施設と連携を図りながら、整備を進めています。現在は未開園です。

■■■ 神戸地区における市民活動状況

神戸地区は、現在開園に向けて整備中ですが、平成11年度より市民参加型管理運営を目指して市民団体やNPO法人による活動を行しており、これまでに約41,000名の方々が参加しています。活動内容としては、「あいな里山まつり」や「田植え体験」等のイベントや、耕作活動、樹林管理、自然環境調査、ユニセフパーク・プロジェクトによる公園整備等、多彩な活動を行っています。

「あいな里山公園」とは

当公園の正式名称は「国営明石海峡公園神戸地区」ですが、多くの方々から「あいな里山公園」の名で呼ばれています。これは、所在地である藍那といい里山保全活用型の公園を目指す事から用いている通称です。

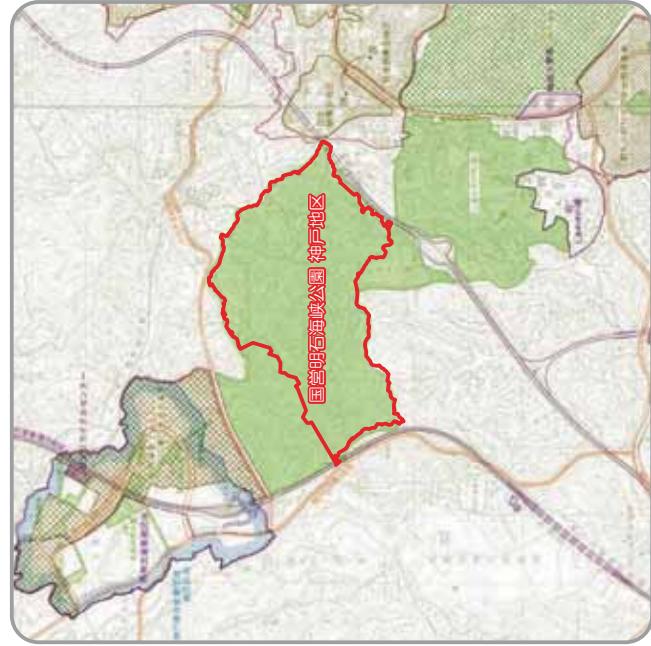
*地図や公式な書類には「あいな里山公園」の名前は出てきません。

■■■ 上空から写真



国営明石海峡公園神戸地区 <計画面積233.9ha>

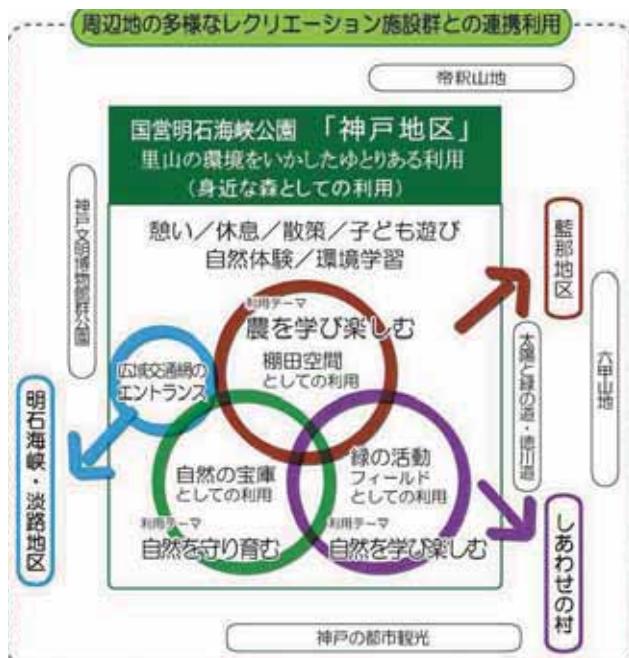
■■■ 周辺都市計画図



【国営明石海峡公園 神戸地区】

平成23年1月の基本計画（改定版）において、4つのゾーンの位置づけの違いを表明している「土地利用計画」「景観計画」をもとに各ゾーンの目標像を設定しており、今後もこれを踏襲していくものとする。

・神戸地区の利用の考え方



・神戸地区の目標像

ゾーン	方向性	目標像（案）
水と緑のゾーン (43 ha)	環境・景観	森に囲まれた快適な園地景観
	機能	周辺地との生物多様性ネットワークの保全・形成
	利用	現況環境を活かした風景の中で、エントランスとしての便益施設を設置
自然保全ゾーン (69 ha)	環境・景観	樹林や谷地田からなるきめ細やかな自然風景
	機能	管理と利用のバランスを保ちながらの、多様な生きものの生息環境の保全
	利用	草地管理や樹林管理などの活動や観察会などのプログラム利用を通して、貴重な動植物の生息・生育環境について学習する場
棚田ゾーン (53 ha)	環境・景観	棚田の広がる里地里山風景
	機能	棚田やため池、樹林、草地などからなる里地里山景観を保全、継承
	利用	農耕や里山管理を公園利用に取り込み、里地里山の生活技術や歴史・文化を継承
森のゾーン (68 ha)	環境・景観	あかるい林間風景
	機能	公園全体のメインエントランスとして、運営管理やインフォメーション、各種サービスなどの機能
	利用	子どもの遊びなど幅広い世代による余暇活動や自然環境の大切さの学習

神戸地区の見どころ



棚田ゾーン

里地里山景観を保全、継承するゾーン
良く管理された棚田や雑木林、野に咲く草花、豪雪の民家、農業をする人など、里山の豊かな風景を創出します。美しい風景とともに里山を維持してきた農耕作業、食の体験などの楽しみを学ぶゾーンです。

森のゾーン

自然を学び、楽しみ、情報交流を図るゾーン
里山の自然の中で、美しい風景を創出するとともに、子ども们の遊びなど幅広い世代による余暇活動や自然環境の大切さを学ぶゾーンです。

水と緑のゾーン

自然環境保全・創造区
自然環境保全・創造区は、自然の水辺、森林の森、農業の森など、自然環境を保全・創造するための施設や活動場所です。



神戸地区 土地利用方針

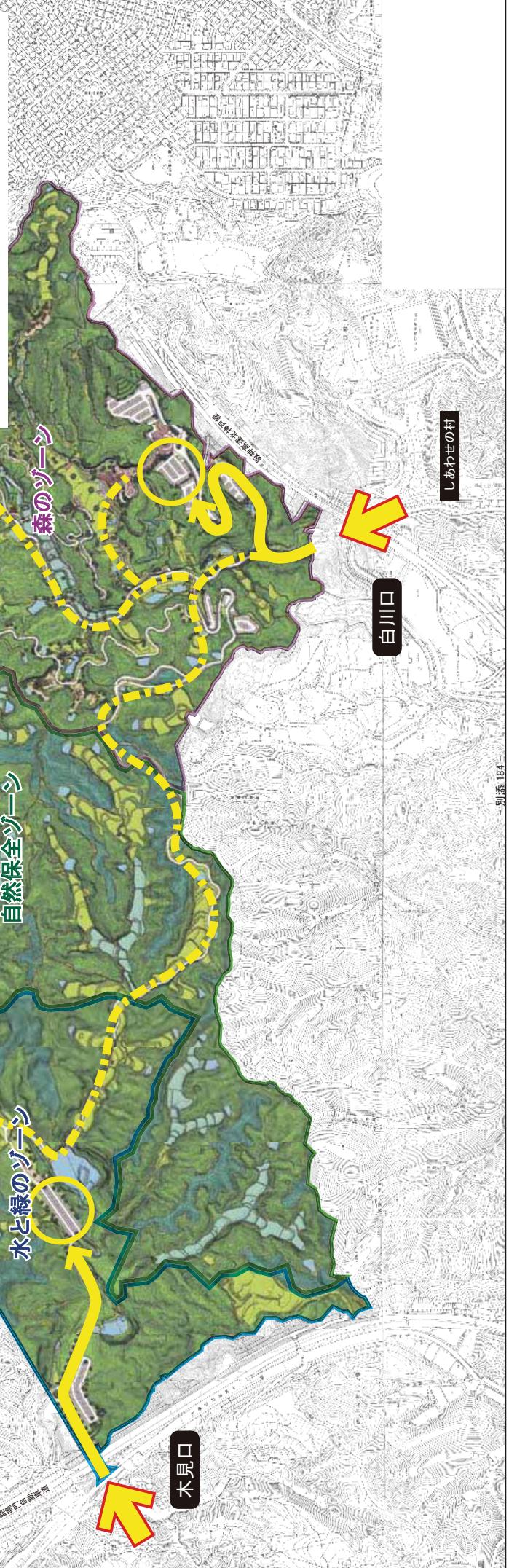


神戸地区利用計画と、里地里山の自然条件、周辺土地利用及び交通条件等を勘案し、
計画地を4つのゾーンに区分した土地利用計画とする。

- 水と緑のゾーン(*):
 - 淡路地区からのエントランスにふさわしい、水と緑の景観を演出するゾーン。
 - 公園に隣接する自然地や自然保全ゾーンとの生物多様性のネットワークの保全・形成に配慮する。
- 自然保全ゾーン:
 - 豊かな自然環境の保全を図るゾーン。
 - 管理と利用のバランスを保しながら、多様な生きものの生息環境を保全する。
 - 草地管理や樹林管理などの活動や観察会などのプログラム利用を通して、貴重な動植物の生息・生育環境について学習する場とする。

- 棚田ゾーン:
 - 棚田やため池、樹林、草地などからなる里地里山景観を保全、継承するゾーン。
 - 農耕や里山管理を公園利用に取り込み、里地里山の生活技術や歴史・文化を継承する。
- 森のゾーン:
 - 里山の自然の中で、美しい風景を創出するとともに、子どもたちの遊びなど幅広い世代による余暇活動や自然環境の大切さを学習するゾーン。
 - 公園全体のメインエンターンスとして、管理運営やインフォメーション、各種サービスなどの機能を配置する。

(*) 周辺施設の計画と調整を図ることとする。



里山の保全と活用を目指した公園づくり

■■■ 里山環境の保全

里山風景を維持・向上するため、樹林・草地の適切な管理を行います。樹林地・水田跡地・ため池などに適正な管理の手を加え、里山環境の維持向上を図ります。
また、野草等の生物の保護・増殖に取り組み、公園の魅力にしていきます。
神戸地区に見られる貴重な植物の多くは、雑木林、畔草地、ため池、湿原等のビオトープに対し、下刈り、落ち葉かき、刈り払いなどの生産管理による定期的かつ継続的な人為影響によって維持される環境下で生息している種です。

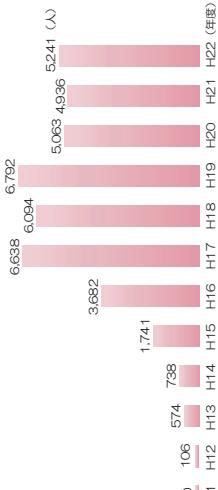


■■■ 市民グループや各種団体の参画

里山環境を維持していた耕作等の活動を、市民団体や利用者に楽しみながら担う仕組みつくりを進めます。基礎施設の整備を自然環境に配慮しながら進めるとともに、棚田ソーンを中心として整備の段階から市民活動による里山づくりを展開します。

現在、開園後の利用方法の検討や里山技術の継承等を目的に、許可を受けた団体による活動が行われています。

神戸地区的市民活動年間参加者数



神戸地区で活動している団体

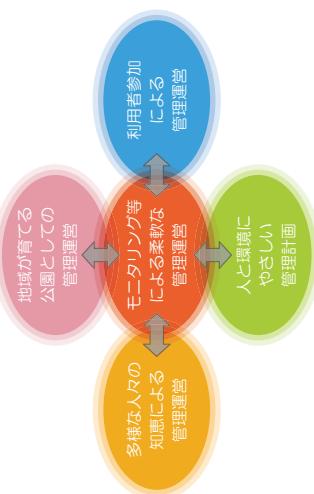
神戸地区は、現在、第1期開園に向けて整備中ですが、平成11年度に開催した「第1回あいな里山プロジェクト - ため池・棚田の修復 -」を機に、市民参加型のイベントなどが開催されています。例には参加団体が主催する「あいな里山まつり」が開催されるなど、これまでに延べ、4,776回、41,695人が参加しています。

兵庫NIEネット 平成23年4月30日時点 18団体が活動



■■■ 管理運営計画

生き物を扱う公園としての管理運営は、自然を人の技で育していくことが基本であり、様々な段階で利用実態調査や自然環境調査のモニタリングを実施し、その結果を様々な人の知恵を結集して、また、次の段階の管理運営に反映する等、順序的管理の考え方方に基づき柔軟な姿勢で臨むことが重要です。



- 地域が育てる公園としての管理運営
- 利用者参加による管理運営
- 多様な人々の知恵による管理運営
- 人と環境にやさしい管理運営